

II 各教科の正答率、問題の内容及び所見・解説

7 英語（学校選択問題）

(1) 正答率

問題	配点	正答率		一部正答率		誤答率		無答率		通過率 率=得点計 (人数×配点)(%)	
		数	(%)	数	(%)	数	(%)	数	(%)		
1	No. 1	2	327	99.4	0	0.0	2	0.6	0	0.0	99.4
	No. 2	2	326	99.1	0	0.0	3	0.9	0	0.0	99.1
	No. 3	2	287	87.2	0	0.0	42	12.8	0	0.0	87.2
	No. 4	2	323	98.2	0	0.0	6	1.8	0	0.0	98.2
	No. 5	2	320	97.3	0	0.0	9	2.7	0	0.0	97.3
	No. 6 (1)	3	285	86.6	0	0.0	44	13.4	0	0.0	86.6
	No. 6 (2)	3	84	25.5	0	0.0	245	74.5	0	0.0	25.5
	No. 6 (3)	3	311	94.5	0	0.0	18	5.5	0	0.0	94.5
	No. 7 (1)	3	256	77.8	18	5.5	40	12.2	15	4.6	80.9
	No. 7 (2)	3	249	75.7	33	10.0	43	13.1	4	1.2	81.7
No. 7 (3)	3	113	34.3	50	15.2	160	48.6	6	1.8	41.8	
2	問1	3	313	95.1	0	0.0	15	4.6	1	0.3	95.1
	問2	4	20	6.1	165	50.2	121	36.8	23	7.0	31.2
	問3	4	164	49.8	114	34.7	44	13.4	7	2.1	72.9
	問4	4	130	39.5	28	8.5	163	49.5	8	2.4	44.5
	問5	3	61	18.5	8	2.4	225	68.4	35	10.6	20.6
	問6 (1)	3	322	97.9	0	0.0	5	1.5	2	0.6	97.9
	問6 (2)	3	282	85.7	0	0.0	45	13.7	2	0.6	85.7
問7	4	72	21.9	95	28.9	135	41.0	27	8.2	40.0	
3	問1①	3	264	80.2	0	0.0	65	19.8	0	0.0	80.2
	問1②	3	208	63.2	0	0.0	121	36.8	0	0.0	63.2
	問1③	3	171	52.0	0	0.0	157	47.7	1	0.3	52.0
	問2	4	42	12.8	139	42.2	74	22.5	74	22.5	35.8
	問3 A	3	137	41.6	7	2.1	165	50.2	20	6.1	42.8
	問3 B	3	111	33.7	22	6.7	173	52.6	23	7.0	36.0
	問4	3	178	54.1	1	0.3	116	35.3	34	10.3	54.3
	問5	3	38	11.6	63	19.1	157	47.7	71	21.6	21.5
	問6 (1)	3	208	63.2	0	0.0	53	16.1	68	20.7	63.2
	問6 (2)	3	10	3.0	5	1.5	115	35.0	199	60.5	3.7
問6 (3)	3	89	27.1	7	2.1	69	21.0	164	49.8	28.5	
4		10	23	7.0	267	81.2	28	8.5	11	3.3	50.3

(小数第2位を四捨五入しているため、%の合計が100にならない場合がある。)

(2) 問題の内容

① 会話やまとまりのある英語を聞いて、概要や要点を聞き取る。

No. 1～3 これからの予定、親子が会話をしている場所、クラスメイトがバスを待っている場面等、日常的な場面の会話を聞いて、絵の中から、質問に対する答えとして適切なものを選ぶ。

No. 4、5 買い物の場面や、先生のためにドアを開けてあげる場面といった、日常生活における「ある場面」を説明する英文を聞いて、質問に対する答えとして適切な表現を選ぶ。

No. 6 Mr. Smithがイングリッシュサマースクールの説明を英語でおこなっている。その説明を聞き取り、内容についての質問に対する答えとして適切なものを選ぶ。

No. 7 TomとMegumiが日曜日の予定について会話をしている。その会話を聞き取り、内容について英語で答える。

2 MikuとJoseph、子育て支援センターのMs. Aidaの会話やメールである。子育て支援センターでのボランティアについての複数のまとまりのある英文を読み、あらすじや大切な部分を把握し、場面に応じて英語で適切に表現する。

3 Moeは家族で石川県に旅行したことをきっかけに、漆や伝統的な工芸品などについて調べ、英語で文章を書いた。この英文を読んで、あらすじや大切な部分を読み取り、内容についての質問に答える。

4 environmental problems（環境問題）についての英文を読んで、自分の考えを〔条件〕と〔記入上の注意〕に従って、40語以上50語程度の英語で書く。

(3) 所見・解説

1 会話やまとまりのある英語を聞いて、概要や要点を聞き取る力をみようとしたものである。

No. 1 会話を聞いて、Harukoが今日やらなくてはならないことを表す絵を選ぶ問題である。会話では、数学の宿題がたくさんあり、今日それをやらなくてはならないと言っているので正答はDである。“I have to do it today.”のitが何をさしているのかを正確に理解することで正答が導くことができる。

No. 2 親子の会話を聞いて、親子が話している場所を選ぶ問題である。本の場所や借りることのできる冊数について話していることから、正答はCの図書館である。会話全体をとらえたうえで、bookやborrow等の語を手がかりに正答を導くことができる。

No. 3 会話を聞いて、どの人物について話しているかを答える問題である。本を持っている男の子の隣に立っている女の子と述べているので、正答はAである。

No. 4 買い物で、気に入ったTシャツのサイズが小さすぎたという場面である。この場面でLisaが店員に何と言うかを問う問題である。より大きなサイズがあるかをたずねるBが正答である。会話の流れを適切に聞き取ることが必要である。

No. 5 Tomが教室の入り口で、たくさんのノートを抱えているMs. Greenに出会う場面である。TomはMs. Greenを手伝いたいと思っているが、そのような状況で何と声をかけるかを問われている。正答はCである。何を問われているかを理解し、状況に応じて適切な表現を選択することが大切である。

No. 6 サマースクールの初日に、活動の案内をするMr. Smithの話を聞き取り、英語の質問に対する答えとして最も適切なものを選ぶ問題である。

(1) 質問は「午前中のそれぞれの授業の時間はどれくらいの長さか」というものである。Mr. Smithの発言“Each class is fifty minutes long.”から、正答はBである。How longの意味を理解し、何を問われているかを理解することで、正答を導くことができる。

(2) 質問は「lunch roomがどこか」というものである。Mr. Smithが“You're in building 3 now,”と言っており、lunch roomについて“It's on the first floor of this building.”と言っているため、正答はAである。メモを取るなどして、情報を整理しながら聞くなどの練習をすることで、必要な情報を捉えることができると考えられる。

(3) 質問は「明日の授業で生徒たちは何をするか」というものである。“In your class tomorrow, you will talk about your favorite things at the museum.”と話していることから、正答はDである。

No. 7 TomとMegumiの会話を聞き取り、英語の質問に対して答えとなる英文を完成させる問題である。

(1) 質問は「日曜日、文化祭の後にTomは何をするか」というものである。Megumiが“We can go shopping after the school festival.”と言った後に、Tomが“That sounds great.”と言っているため、正答はgo shopping等となる。

(2) 質問は「Tomは去年、誕生日プレゼントとして祖母に何をあげたか」というものである。“Last year, I gave her a lot of flowers.”とあるので、正答はlot of flowersとなる。

(3) 質問は「日曜日にTomとMegumiは9時30分にどこで会うか」というものである。“We

have to arrive at the station by nine forty on Sunday. So I'll meet you at your house ten minutes before that.”と Megumi が言っているので、正答は at his house となる。

「聞くこと」の学習においては、No. 1 のような短めの英語を聞くことから始め、英語を聞き取り、絵や図表等の情報につなげることに慣れていくことが重要である。No. 4 や No. 5 では、特定の場面での表現を正確に理解することが大切である。No. 6 や No. 7 のようなまとまりのある英語では、概要や要点を正確に把握するために、メモをとる等の工夫をして、必要な情報を聞き取る力を身に付けたい。

2 複数のまとまりのある英文を読んで、あらすじや大切な部分を読み取り、場面に応じて英語で適切に表現する力をみようとしたものである。

問 1 会話の流れと合うように、空欄を補う表現を選ぶ問題である。Miku の発言にある“I started doing volunteer work to help the children there.”から子供と関わるボランティアであることや、“I want to be a nursery school teacher,”から保育士になりたいということがわかるので、正答はウとなる。

問 2 地図を見ながら、駅から子育て支援センターまでの道順を英語で説明する問題である。正答は、From the station, go straight and turn left at the third corner, and you will see it on your right. It is next to a park.等となる。文の構造上の誤りは少なかったが、straight, corner, turn, right 等の綴りの誤りが多くみられた。また、前置詞の誤りや冠詞 the の入れ忘れ等の誤りもみられた。実生活にも役立つ会話表現だけに、これらの表現はしっかりと身に付けておきたい。

問 3 Miku から送られたメールの内容を読み取り、ボランティアの初日に持っていくものを答える問題である。本文の“don't forget to bring your lunch to eat with the children.”を読み取り、質問文に答える形に直せるかをみようとした問題である。正答は He has to bring his lunch.等となる。

問 4 与えられた日本語に合うよう、空欄に4語以上の適切な英語を書き、英文を完成させる問題である。正答は Why don't you read 等となる。

問 5 単語を正しい順序に並べかえて英文を完成させる問題である。正答は nothing is more important than spending time with となる。この問題では、nothing を主語にし、S is 比較級 than ～「S は～よりも…である」の表現を作ることがポイントとなる。

問 6 本文1～4の会話とメールの内容と合うように、示された英語に続く最も適切なものを選び、英文を完成させる問題である。(1)本文1において、Miku の発言“The center needed some volunteers to take care of the small children,”から、正答はイとなる。(2)本文3において、Ms. Aida の発言“Some of the children here are very small, so you have to be careful.”から、正答はエとなる。

問 7 本文の内容をふまえた自然な流れの1文になるように、空欄に4語以上の英語を書く問題である。空欄のある英文の次の発言に、“Yes, they like famous Japanese music for children.”とあることから、「どのような種類の歌が好きか(知っていますか)」と質問している内容であることを予測すれば、正答の what kind of music they like 等を導くことができる。英文が Do you know～で始まり、空欄の部分が間接疑問文となることに注意が必要である。

3 まとまりのある英文を読んで、あらすじや大切な部分を読み取る力をみようとしたものである。

問 1 英文の流れと合うように、本文中の3つの空欄を補う文として適切なものを、それぞれ記号で答える問題である。①については、前文で「漆は工芸品の修復にも用いられている。」とあり、続く文に「漆は小さな工芸品に用いられ、同様に、木造の建築物にも用いられる。」とある。そのため、選択肢の中から、漆が小さな工芸品の修復に用いられるという話題を選び、「例えば、もし皿を壊したら、漆を接合剤として用いることで、それを修復することができる。」というエが正答となる。②については、前文までに「漆は小さな工芸品に用いられ、同様に、木造の建築物にも用いられる。京都の金閣寺を建てるのにも用いられた。もちろん、建築物を修復するためにはたくさんの漆が必要となる。」とあり、続く文には「日光の世界遺産群の多くの古い建築物もまた、たくさんの漆を必要とする。」とある。前後に、漆がたくさん使われるという話題が共通していることから、「例えば、約1,500kgの漆が、金閣寺の修復をするために使われた。」というウが正答となる。③については、②の続きで、「日光の世界遺産群の多くの古い建築物もまた、たくさんの漆を必要とする。」とあり、続く文で「事実、漆を生産する日本の労働者数は減少している。」ということが述べられている。このことから、日本産の漆の量が少ない、という話題に関わるものを選ぶ。「しかしながら、日本で使われるほとんどすべての漆が外国産であり、日本で使われる漆のうちた

った3%しか日本産ではない。」というAが正答となる。

問2 本文の内容に関する英語の質問に英語で答える問題である。「勝者のメダルに漆を用いて何が描かれていたか」という質問に対して、長野オリンピックの話題は第5段落に書かれている。“After thinking about all this, NAOC chose to make them with *urushi* and painted mountains and the morning sun on them with *urushi*.”とあることから、Mountains and the morning sun were.等が正答となる。

問3 英文の流れに合わせて、空欄にあてはまる最も適切なものを選んで、それぞれ正しい形に変えて答える問題である。Aについては前文にて「外国の多くもまた、漆の工芸品を修復する。」とあり、空欄のある文中には「日本からヨーロッパへAその工芸品の多くは、現在修復が必要となっている。」とある。Aが分詞で、後置修飾であることは、述語動詞needがあることから分かる。ここではbringを選び、「持ち込まれた」というbroughtが正答となる。Bについては、Moeが漆についてのさまざまなことを学んだあと総括として述べられている箇所である。前文には、「これらすべてのことを学んで、大切に扱えば漆の工芸品は長い年月の間使えることがわかった。」とある。またBの前後で「実際、価値ある漆の工芸品には、美術館でBすべきものもある。」と述べている。be動詞があることから、進行形か受動態であることが判断でき、「価値ある工芸品を美術館で」というつながりから、keepを選び、keptと答えることができる。

問4 単語を正しい順序に並べかえて英文を完成させる問題である。「(私は、)彼らは多くの人に彼らの(工芸品)を使ってもらいたいのだ(と思う。)」となるため、(I think) they want many people to use their (crafts.)が正答となる。述語動詞の理解や、want+人+to do等がポイントとなる。

問5 本文の内容に関する日本語の質問に対して日本語で答える問題である。母親がMoeに漆の箸を買ってくれたエピソードは第1段落に述べられているが、その理由については同段落では述べられていない。第7段落で、“Now I know why my mother bought me those chopsticks at that shop.”と述べられており、その理由がMoeによって推察される。その内容が、「毎日伝統的な工芸品を使うことを楽しむほうがよい。このことを私に伝えたかったから、母は私に漆の箸を買ってくれた。」とあり、それを母親にたずねて、“That’s right.”という返答を受けている。このことから、母親が上記の理由でMoeに漆の箸を買ってくれたことがわかる。そこから正答例の内容を導きだせばよい。

問6 本文の内容をまとめた英文の空欄に、適切な英語をそれぞれ2語で答える問題である。正答例として、(1)については、本文の第2段落に、“*Urushi* has been used for over eight thousand years in Japan.”とあり、そこから、「長い間」というfor a long timeのa long等となる。(2)については、本文の第6段落に、“They also held workshops to show students or museum workers how to use the materials and techniques to restore Japanese crafts with *urushi*.”とあるので、「日本の職人たちは、漆の工芸品を修復するために使われる技術を、それらを必要な人々に教えた。」という意味になるように、are used等となる。(3)については、本文の第7段落に、“Now I know why my mother bought me those chopsticks at that shop. Of course, it is good to enjoy looking at traditional crafts in museums. But it is better to enjoy using them every day.”と述べられている。Moeは、母が買ってくれた箸を毎日使うであろうと読み取り、正答はmother bought等となる。キーワードが指す内容を押さえながら読み、全体の内容を理解することが大切である。

様々なテーマや分野に関するまとまった長さの英文を読み、理解が不十分と思われる事項の確実な定着を図りたい。

4 environmental problems (環境問題) についての英文を読んで、与えられた条件と記入上の注意に従い、まとまった内容を英語で適切に表現できるかをみようとしたものである。解答の仕方として、例えば、消費電力の削減に着目して、I try to share the same room with my family when I use the air conditioner, and I turn the lights off in rooms which we don’t use.のように書き、さらにその理由がわかるように全部で40語以上50語程度の英語でまとめることがポイントである。

正答にならなかった解答では、時制を含む主語と述語動詞の一致が不適切なものが最も多くみられた。また、problemやplastic等の綴りの誤りや、冠詞や大文字・小文字の誤り、品詞の誤用等がみられた。

問題に正対し、適切な表現を用いて内容に一貫性のある文章を書けているかということに注意を払いたい。また、文のつながりや展開等にも意識を向け、自分の考えや理由等が読み手に正しく伝わる文章を書く力を充実させたい。